

第2次菊川市総合計画策定に伴う「SWOT分析結果」

外部環境（機会、脅威）と内部環境（強み、弱み）の組み合わせから成る4つの領域【成長戦略】、【改善戦略】、【回避戦略】、【改革戦略】ごとに、戦略（解決すべき課題点や課題解決のためのとりくみの方向性）を示します。

■SWOT分析による今後の計画づくりに向けて、解決すべき課題や課題解決の方向性

資料2

		<table><tr><th>菊川市をとりまく外部環境</th><th>菊川市をとりまく外部環境</th></tr><tr><th>プラス要因</th><th>マイナス要因</th></tr><tr><td>【自然環境】【生活環境】 ■地域の風土、自然への関心の高まり ■温暖な気候に恵まれる ■エコアクションの効果 ■循環型社会、自然エネルギーへの関心の高まり ■情報化社会、通信回線の普及 【子ども子育て】【教育】【社会教育】 ■子ども子育て支援法、子どもの貧困対策法が制定 ■子育て支援サービスのニーズの高まり ■子育てに対する一層の関心の高まり ■マスコミによるツキキンギ 情報の発信（子育て・暮らしのしやすさ） ■高度情報化・ICT先進地区としての認知度が高まる ■いじめ防止への気運の高まり ■教育への関心の高まり ■和食のユネスコ無形文化遺産への登録 ■フグビ-W杯静岡県会場選定（エコパ） ■富士山の世界遺産登録 ■東京リビニッラの開催（2020年） ■首都圏からのスポーツ合宿ニーズ 【福祉・医療】 ■C C R C（医療・介護が必要な時に継続的なケアを受けることができるような地域づくり）の構築 ■社会保障改革の進展 ■健康志向の高まり（食、自転車、ウォーキング愛好者の増加等） ■「健康寿命日本一」（静岡県） 【産業・就業】 ■景気の回復基調 ■規制緩和によるビジネスチャンスの拡大 ■内陸フロンティアを拓く取組み ■団塊世代の退職による人材供給</td><td>【自然環境】【生活環境】 □地球温暖化 □異常気象の増加 □環境問題 □消費税増税による個人消費の減少 □サラリーマン世帯の総貧困化 □ひとり親家庭の増加 □非正規労働による経済不安 【子ども子育て】【教育】【社会教育】 □母親の孤立化、虐待 □出生率の低下 □学力の成果主義 □子どもの基礎的運動能力の低下 □民間フィットネスクラブへの需要流出 【福祉・医療】 □社会保障の増大 □中東遠地域の医師不足 □健康への不安（健康志向の高まり） 【産業・就業】 □中小企業の景気が向上していない □地域経済の衰え □就業環境、賃金低下 □労働者の減少 □女性の社会進出を阻む労働環境 □格差社会の進行（雇用問題、経済） □働く場所が無いことによる他市への人口流出 【農業】 □お茶の価格低迷&国内消費量減 □食糧輸入拡大 □茶の消費方法が安いペットボトルが主流に □荒廃する森林・里山の増加 □食料自給率の低下 【商業・観光】 □観光名所の少なさ、客数の少なさ □集客性の高い商業施設がない 【防災・防犯】 □浜岡原発の原子力災害への懸念 □東海地震災害への懸念 □犯罪の増加、凶悪化、低年齢化 □異常気象によるゲリラ豪雨、真夏日、台風上陸の回数の増加している 【公共交通】 □第2東名、リニアの開通 【都市基盤】 □公共施設に必要な国庫補助金等が削減 □社会資本の老朽化 【土地利用等】 □東京～名古屋間みると通過地点でしかない □静岡市、浜松市から距離がある 【人口・コミュニティ】 □首都圏への人材集中、地方人口の減少 □人口増加（定住促進含む）施策を打ち出す □晩婚化、非婚化 □少子高齢化・核家族化・独居高齢者 □人間関係の希薄化</td></tr></table>	菊川市をとりまく外部環境	菊川市をとりまく外部環境	プラス要因	マイナス要因	【自然環境】【生活環境】 ■地域の風土、自然への関心の高まり ■温暖な気候に恵まれる ■エコアクションの効果 ■循環型社会、自然エネルギーへの関心の高まり ■情報化社会、通信回線の普及 【子ども子育て】【教育】【社会教育】 ■子ども子育て支援法、子どもの貧困対策法が制定 ■子育て支援サービスのニーズの高まり ■子育てに対する一層の関心の高まり ■マスコミによるツキキンギ 情報の発信（子育て・暮らしのしやすさ） ■高度情報化・ICT先進地区としての認知度が高まる ■いじめ防止への気運の高まり ■教育への関心の高まり ■和食のユネスコ無形文化遺産への登録 ■フグビ-W杯静岡県会場選定（エコパ） ■富士山の世界遺産登録 ■東京リビニッラの開催（2020年） ■首都圏からのスポーツ合宿ニーズ 【福祉・医療】 ■C C R C（医療・介護が必要な時に継続的なケアを受けることができるような地域づくり）の構築 ■社会保障改革の進展 ■健康志向の高まり（食、自転車、ウォーキング愛好者の増加等） ■「健康寿命日本一」（静岡県） 【産業・就業】 ■景気の回復基調 ■規制緩和によるビジネスチャンスの拡大 ■内陸フロンティアを拓く取組み ■団塊世代の退職による人材供給	【自然環境】【生活環境】 □地球温暖化 □異常気象の増加 □環境問題 □消費税増税による個人消費の減少 □サラリーマン世帯の総貧困化 □ひとり親家庭の増加 □非正規労働による経済不安 【子ども子育て】【教育】【社会教育】 □母親の孤立化、虐待 □出生率の低下 □学力の成果主義 □子どもの基礎的運動能力の低下 □民間フィットネスクラブへの需要流出 【福祉・医療】 □社会保障の増大 □中東遠地域の医師不足 □健康への不安（健康志向の高まり） 【産業・就業】 □中小企業の景気が向上していない □地域経済の衰え □就業環境、賃金低下 □労働者の減少 □女性の社会進出を阻む労働環境 □格差社会の進行（雇用問題、経済） □働く場所が無いことによる他市への人口流出 【農業】 □お茶の価格低迷&国内消費量減 □食糧輸入拡大 □茶の消費方法が安いペットボトルが主流に □荒廃する森林・里山の増加 □食料自給率の低下 【商業・観光】 □観光名所の少なさ、客数の少なさ □集客性の高い商業施設がない 【防災・防犯】 □浜岡原発の原子力災害への懸念 □東海地震災害への懸念 □犯罪の増加、凶悪化、低年齢化 □異常気象によるゲリラ豪雨、真夏日、台風上陸の回数の増加している 【公共交通】 □第2東名、リニアの開通 【都市基盤】 □公共施設に必要な国庫補助金等が削減 □社会資本の老朽化 【土地利用等】 □東京～名古屋間みると通過地点でしかない □静岡市、浜松市から距離がある 【人口・コミュニティ】 □首都圏への人材集中、地方人口の減少 □人口増加（定住促進含む）施策を打ち出す □晩婚化、非婚化 □少子高齢化・核家族化・独居高齢者 □人間関係の希薄化	
菊川市をとりまく外部環境	菊川市をとりまく外部環境								
プラス要因	マイナス要因								
【自然環境】【生活環境】 ■地域の風土、自然への関心の高まり ■温暖な気候に恵まれる ■エコアクションの効果 ■循環型社会、自然エネルギーへの関心の高まり ■情報化社会、通信回線の普及 【子ども子育て】【教育】【社会教育】 ■子ども子育て支援法、子どもの貧困対策法が制定 ■子育て支援サービスのニーズの高まり ■子育てに対する一層の関心の高まり ■マスコミによるツキキンギ 情報の発信（子育て・暮らしのしやすさ） ■高度情報化・ICT先進地区としての認知度が高まる ■いじめ防止への気運の高まり ■教育への関心の高まり ■和食のユネスコ無形文化遺産への登録 ■フグビ-W杯静岡県会場選定（エコパ） ■富士山の世界遺産登録 ■東京リビニッラの開催（2020年） ■首都圏からのスポーツ合宿ニーズ 【福祉・医療】 ■C C R C（医療・介護が必要な時に継続的なケアを受けることができるような地域づくり）の構築 ■社会保障改革の進展 ■健康志向の高まり（食、自転車、ウォーキング愛好者の増加等） ■「健康寿命日本一」（静岡県） 【産業・就業】 ■景気の回復基調 ■規制緩和によるビジネスチャンスの拡大 ■内陸フロンティアを拓く取組み ■団塊世代の退職による人材供給	【自然環境】【生活環境】 □地球温暖化 □異常気象の増加 □環境問題 □消費税増税による個人消費の減少 □サラリーマン世帯の総貧困化 □ひとり親家庭の増加 □非正規労働による経済不安 【子ども子育て】【教育】【社会教育】 □母親の孤立化、虐待 □出生率の低下 □学力の成果主義 □子どもの基礎的運動能力の低下 □民間フィットネスクラブへの需要流出 【福祉・医療】 □社会保障の増大 □中東遠地域の医師不足 □健康への不安（健康志向の高まり） 【産業・就業】 □中小企業の景気が向上していない □地域経済の衰え □就業環境、賃金低下 □労働者の減少 □女性の社会進出を阻む労働環境 □格差社会の進行（雇用問題、経済） □働く場所が無いことによる他市への人口流出 【農業】 □お茶の価格低迷&国内消費量減 □食糧輸入拡大 □茶の消費方法が安いペットボトルが主流に □荒廃する森林・里山の増加 □食料自給率の低下 【商業・観光】 □観光名所の少なさ、客数の少なさ □集客性の高い商業施設がない 【防災・防犯】 □浜岡原発の原子力災害への懸念 □東海地震災害への懸念 □犯罪の増加、凶悪化、低年齢化 □異常気象によるゲリラ豪雨、真夏日、台風上陸の回数の増加している 【公共交通】 □第2東名、リニアの開通 【都市基盤】 □公共施設に必要な国庫補助金等が削減 □社会資本の老朽化 【土地利用等】 □東京～名古屋間みると通過地点でしかない □静岡市、浜松市から距離がある 【人口・コミュニティ】 □首都圏への人材集中、地方人口の減少 □人口増加（定住促進含む）施策を打ち出す □晩婚化、非婚化 □少子高齢化・核家族化・独居高齢者 □人間関係の希薄化								
菊川市の内部環境	強み	<table><tr><th>【成長戦略】（強みによって機会をさらに活かす方向）</th><th>【回避戦略】（強みで脅威を回避・克服する方向）</th></tr><tr><td>●■自然資源、風景を活かした菊川市のイメージアップ ●■環境と共生するまちづくりの実践 ●■子育てしやすいまちとしてのブランド向上 ●■I C T環境を活かした教育力の向上 ●■今後の国際大会開催などを背景にした「スポーツ文化」の醸成 ●■健康都市としてのイメージアップ ●■（内陸フロンティア等）広域プロジェクトの推進による市内産業の活性化 ●■自然資源、特産物の地域ブランドとしてのブラッシュアップや6次産業化などの展開 ●■「お茶」を活かしたブランドイメージの見直し、更なる発信 ●■地域のつながりを活かした防災、減災対策の充実 ●■広域交通アクセス性を活かした公共交通の充実 ●■菊川駅周辺等の都市拠点機能の充実 ●■鉄道駅、ICといった広域交通拠点を中心にした利便性の高い市街地形成を維持 ●■市民の「地域愛」の醸成や市民参加による、住み良いまちの環境維持</td><td>●●残存する自然環境の保全と共生 ●●生活コストの見直し等経済性を意識した無駄のない日常生活の実践 ●●居住や子育てに対する環境の優位性を維持 ●●伸びのび学ぶことのできる環境の維持 ●●各世代がスポーツに親しめる環境づくり ●●既存病院の立地を活かした地域に密着した医療の充実 ●●地元中小企業等の支援による市内産業力の底上げ ●●農業生産の体制・環境の改善 ●●市の特産品による地域独自ブランドの確立と収益性の確保 ●●様々な災害リスクへの対応強化 ●●既存交通拠点の利用促進 ●●開発コストを抑えた駅周辺整備の促進 ●●通過利用者に向けた菊川市のP R等 ●●転入人口、若年齢層人口の定着による都市活力の維持</td></tr></table>	【成長戦略】（強みによって機会をさらに活かす方向）	【回避戦略】（強みで脅威を回避・克服する方向）	●■自然資源、風景を活かした菊川市のイメージアップ ●■環境と共生するまちづくりの実践 ●■子育てしやすいまちとしてのブランド向上 ●■I C T環境を活かした教育力の向上 ●■今後の国際大会開催などを背景にした「スポーツ文化」の醸成 ●■健康都市としてのイメージアップ ●■（内陸フロンティア等）広域プロジェクトの推進による市内産業の活性化 ●■自然資源、特産物の地域ブランドとしてのブラッシュアップや6次産業化などの展開 ●■「お茶」を活かしたブランドイメージの見直し、更なる発信 ●■地域のつながりを活かした防災、減災対策の充実 ●■広域交通アクセス性を活かした公共交通の充実 ●■菊川駅周辺等の都市拠点機能の充実 ●■鉄道駅、ICといった広域交通拠点を中心にした利便性の高い市街地形成を維持 ●■市民の「地域愛」の醸成や市民参加による、住み良いまちの環境維持	●●残存する自然環境の保全と共生 ●●生活コストの見直し等経済性を意識した無駄のない日常生活の実践 ●●居住や子育てに対する環境の優位性を維持 ●●伸びのび学ぶことのできる環境の維持 ●●各世代がスポーツに親しめる環境づくり ●●既存病院の立地を活かした地域に密着した医療の充実 ●●地元中小企業等の支援による市内産業力の底上げ ●●農業生産の体制・環境の改善 ●●市の特産品による地域独自ブランドの確立と収益性の確保 ●●様々な災害リスクへの対応強化 ●●既存交通拠点の利用促進 ●●開発コストを抑えた駅周辺整備の促進 ●●通過利用者に向けた菊川市のP R等 ●●転入人口、若年齢層人口の定着による都市活力の維持			
		【成長戦略】（強みによって機会をさらに活かす方向）	【回避戦略】（強みで脅威を回避・克服する方向）						
●■自然資源、風景を活かした菊川市のイメージアップ ●■環境と共生するまちづくりの実践 ●■子育てしやすいまちとしてのブランド向上 ●■I C T環境を活かした教育力の向上 ●■今後の国際大会開催などを背景にした「スポーツ文化」の醸成 ●■健康都市としてのイメージアップ ●■（内陸フロンティア等）広域プロジェクトの推進による市内産業の活性化 ●■自然資源、特産物の地域ブランドとしてのブラッシュアップや6次産業化などの展開 ●■「お茶」を活かしたブランドイメージの見直し、更なる発信 ●■地域のつながりを活かした防災、減災対策の充実 ●■広域交通アクセス性を活かした公共交通の充実 ●■菊川駅周辺等の都市拠点機能の充実 ●■鉄道駅、ICといった広域交通拠点を中心にした利便性の高い市街地形成を維持 ●■市民の「地域愛」の醸成や市民参加による、住み良いまちの環境維持	●●残存する自然環境の保全と共生 ●●生活コストの見直し等経済性を意識した無駄のない日常生活の実践 ●●居住や子育てに対する環境の優位性を維持 ●●伸びのび学ぶことのできる環境の維持 ●●各世代がスポーツに親しめる環境づくり ●●既存病院の立地を活かした地域に密着した医療の充実 ●●地元中小企業等の支援による市内産業力の底上げ ●●農業生産の体制・環境の改善 ●●市の特産品による地域独自ブランドの確立と収益性の確保 ●●様々な災害リスクへの対応強化 ●●既存交通拠点の利用促進 ●●開発コストを抑えた駅周辺整備の促進 ●●通過利用者に向けた菊川市のP R等 ●●転入人口、若年齢層人口の定着による都市活力の維持								

今後のまちづくりの方向性＜SWOT分析結果＞
＜菊川市の地域特性(SWOT分析)＞

成長戦略(強みによって機会をさらに活かす)

- ①自然資源、風景を活かした菊川市のイメージアップ
- ②環境と共生するまちづくりの実践
- ③子育てしやすい、子どもにやさしいまちとしてのブランド向上
- ④ICT環境を活かした教育力の向上
- ⑤今後の国際大会開催などを背景にした「スポーツ文化」の醸成
- ⑥健康都市としてのイメージアップ
- ⑦(内陸フロンティアを拓く取組等)広域プロジェクトの推進による市内産業の活性化
- ⑧自然資源、特産物の地域ブランドとしてのブラッシュアップや6次産業化などの展開
- ⑨「お茶」を活かしたブランドイメージの見直し、更なる発信
- ⑩地域のつながりを活かした防災、減災対策の充実
- ⑪広域交通アクセス性を活かした公共交通の充実
- ⑫菊川駅周辺等の都市拠点の充実
- ⑬鉄道駅、ICといった広域交通拠点を中心にした利便性の高い市街地形成を維持
- ⑭市民の「地域愛」の醸成や市民参加による、住み良いまちの環境維持

回避戦略(強みで脅威を回避・克服する)

- ①残存する自然環境の保全と共生
- ②生活コストの見直し等経済性を意識した無駄のない日常生活の実践
- ③居住や子育てに対する環境の優位性を維持
- ④伸びのび学ぶことのできる環境の維持
- ⑤各世代がスポーツに親しめる環境づくり
- ⑥既存病院の立地を活かした地域に密着した医療の充実
- ⑦地元中小企業等の支援による市内産業力の底上げ
- ⑧農業生産の体制・環境の改善
- ⑨お茶などの市の特産品による地域独自ブランドの確立と収益性の確保
- ⑩様々な災害リスクへの対応強化
- ⑪既存交通拠点の利用促進
- ⑫開発コストを抑えた駅周辺整備の促進
- ⑬通過利用者に向けた菊川市のPR等
- ⑭転入人口、若年齢層人口の定着による都市活力の維持

改善戦略(機会を逃さないように弱みを改善する)

- ①自然と調和した屋外環境(施設・公園・空き地等)の整備
- ②学力の向上、進学に対する相談機会等の充実
- ③スポーツ、地域文化に対する市民の関心を醸成
- ④市民の見守りに基づく地域コミュニティ機能の充実(地域福祉の展開)
- ⑤産業活動における新規参入の促進
- ⑥菊川の「特産物」のPR
- ⑦広域交通アクセス性を活かした市外からの人の誘導
- ⑧災害危険箇所の再確認と地域の協力に基づく整備の推進
- ⑨広域交通網とのアクセス性向上(コミバス・道路整備等)
- ⑩菊川駅周辺市街地の改善
- ⑪生産活動と居住、自然環境のバランスに配慮した市街地形成
- ⑫住民主体による地域に身近なまちづくりの展開

改革戦略(最悪の事態を招かないように弱みを克服し改革する)

- ①暮らしに身近な(商店、各種生活サービス機能を有する)施設の確保
- ②高等・専門性の高い教育機関の誘致検討
- ③スポーツに親しむ機会の充実、啓発活動の推進
- ④安定的な財源確保と効率的な福祉サービスの実践
- ⑤雇用促進策の展開
- ⑥農業従事者の多面的な確保
- ⑦菊川駅周辺等の再活性化の推進
- ⑧ハザードマップ等の見直し、周知
- ⑨交通機関へ利便向上の要請
- ⑩公共施設ストックの適切な維持・管理及び整備の推進
- ⑪菊川駅周辺地域の外部からの吸引力向上
- ⑫若年世代に対する菊川市の住み良さ等のPR
- ⑬安心安全な地域生活環境形成

＜まちづくりの課題と方向性(案)＞

①既存産業・特産物を活かした地域振興

- ・既存産業力の維持や雇用の確保
- ・特産物を活かした6次産業化など新たな地域振興の展開
- 【成長戦略⑦⑧⑨／回避戦略①⑦⑧⑨／改善戦略⑤⑥／改革戦略⑤⑥⑫】

②便利で安全・快適な市街地の形成

- ・適正な土地利用の誘導や利便性の高い公共交通網の形成
- 【成長戦略⑩⑪⑫⑬⑭／回避戦略①⑩⑪⑫／改善戦略⑧⑨⑩⑪／改革戦略⑦⑧⑨⑩⑪】

③家族形成世代の暮らしの安定を保つ

- ・働く世代の定住促進支援、生活に身近な生活利便施設の確保
- 【成長戦略③／回避戦略③⑭／改善戦略①⑪／改革戦略①④】

④少子・高齢社会に応じた社会環境の再整備

- ・子どもからお年寄りまですべての市民の暮らしに身近な環境の整備
- ・公共ストック・サービスの適正な維持・管理
- ・安定的な福祉、医療サービスの提供
- 【成長戦略③／回避戦略②⑥／改善戦略②③④】

⑤多様な「菊川文化」の醸成

- ・教育、文化、スポーツ活動などを通じて、菊川市の個性を磨く
- 【成長戦略④⑤／回避戦略④⑤／改善戦略②③／改革戦略②③】

⑥菊川らしさの共有と外部に向けた都市イメージの確立

- ・「住み良いまち」といった、菊川ブランドの確立と、外部への発信力の向上
- 【成長戦略①②⑥／回避戦略⑬／改善戦略⑦／改革戦略②③⑪】

⑦自助・共助・公助による安心安全な環境づくり

- ・住民、地域の主体による生活に身近なまちづくりの展開
- 【成長戦略②／改善戦略③④⑫／改革戦略⑩⑬】

＜まちづくりの基本目標・方針(案)＞

【子育て・教育】③④⑤⑥⑦

○子どもがいそいそ育つまち

＜キーワード＞

- ※子育て支援・環境の充実
- ※学校教育の充実
- ※社会教育の充実
- ※スポーツ振興

【医療・福祉・保健】③④⑤⑥

○健康で元気に暮らせるまち

＜キーワード＞

- ※医療の充実
- ※健康づくりの推進
- ※福祉サービスの充実
- ※介護保険事業の推進

【産業】①②③⑦

○活気があふれ地域の良さを伸ばすまち

＜キーワード＞

- ※市内産業(農工商)の活性化
- ※地域ブランド・特産物のPR
- ※6次産業の展開
- ※企業誘致の推進・創業支援体制の充実

【インフラ・環境・防災】①②③⑦

○快適で安心して暮らせるまち

＜キーワード＞

- ※公共交通の充実
- ※都市拠点・市街地形成の推進
- ※防災・減災対策の充実強化
- ※生活・自然環境の整備と保全

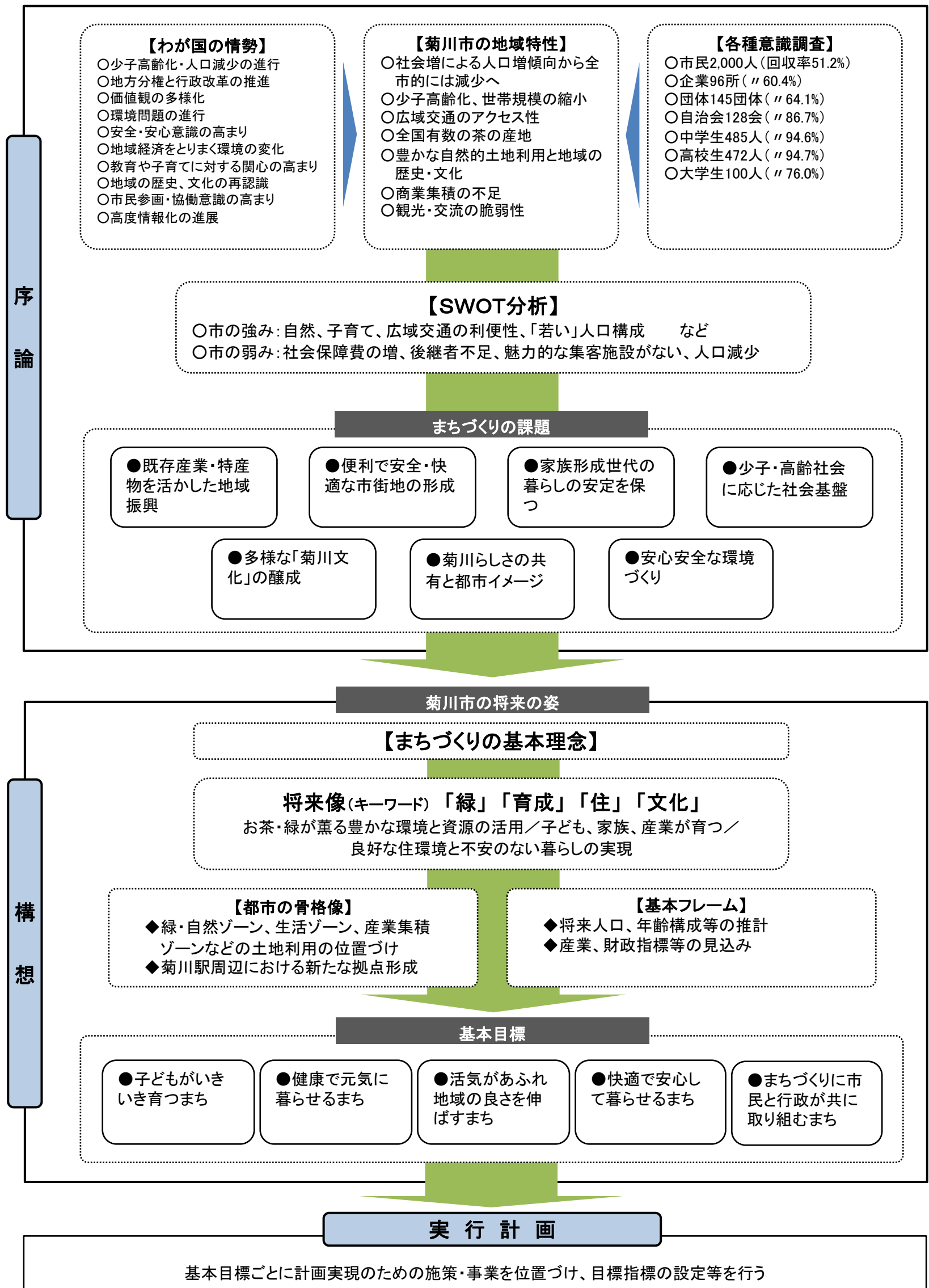
【コミュニティ・自助・共助・公助】①②④⑤⑥⑦

○まちづくりに市民と行政が共に取り組むまち

＜キーワード＞

- ※地域コミュニティの充実
- ※菊川市のイメージアップ・PR
- ※若者参加コミュニティの形成

「基本構想」の骨子



第2次菊川市総合計画体系図

